

一般財団法人 切手の博物館

2013年度 事業報告書

2013(平成25)年4月1日～2014(平成26)年3月31日

【概要】 2013年度は、財団法人切手の博物館から一般財団法人切手の博物館へ移行した最初の年度です。継続事業として、郵便切手類の収集、保管、公開、学術調査研究などを通して郵便切手文化の普及と振興に寄与する事業を、その他事業として、郵便切手類の受託販売事業を行っています。また、登録博物館として、人々との交流を通して郵便切手文化に触れ、知の楽しみを分かち合う諸活動を続けています。

I. 継続事業

1. 収蔵品の収集、保存、公開

(1) 企画展示・特別展示の開催

①企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。「クジラとイルカ」展では「国際博物館の日」記念事業として、また「切手はイギリスから」展では来館者サービスとして、それぞれ1日限定で豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
4月3日(水)～6月30日(日)	クジラとイルカ	77	3,429
7月4日(木)～9月29日(日)	メガネ！メガネ！メガネ！	76	4,444
10月3日(木)～12月27日(金)	切手はイギリスから	74	3,066
1月4日(土)～3月30日(日)	民族衣装	74	3,012
合計		301	13,951

②特別展示（有料展）

3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。「きて★みて★きって2013」を除く各展覧会では豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
7月20日(土)～8月18日(日)	きて★みて★きって2013	26	1,820
11月22日(金)～11月24日(日)	切手はアートだ！	3	350
12月1日(日)～12月25日(火)	切手の博物館のクリスマス	21	995
2月1日(土)～2月14日(金)	愛の切手展	12	439
合計		62	3,604

③特別展示（無料展）

- フィンランドと日本の友好を深めるため、フィンランド郵政との共催により、1階エントランスで「ムーミン切手展」[5月18日(土)]を開催しました。
- 3階展示室で「世界の切手」展[4月27日(土)～5月5日(日)]及び「第11回切手はり絵コンテスト作品展」[9月7日(土)～9月24日(火)]を開催しました。

(2) 蔵書の公開

図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は90名、202冊でした。

(3) 入館料の特典

- ①開館以来、毎月ふみの日（23日、休館日の月曜日の場合は翌24日）は入館無料としています。
- ②国際博物館会議（I C O M）及び（公財）日本博物館協会が提唱する第11回「国際博物館の日（5月18日）」の記念事業として、当日を入館料無料としました。（入館者数461名）
- ③厚生労働省が推進する「児童福祉週間」に協力し、5月5日(日・祝)～5月11日(土)は小中学生の入館料を無料としました。（小中学生の入館者数28名）

(4) 資料の収集・保存管理

- ①日本及び世界各国の新切手を常時追加購入し、発行国・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。
- ②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。
- ③図書室へは36名の方から、450冊（単行本109冊、雑誌341冊）が寄贈されました。（公財）日本郵趣協会及び（株）日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。

2. 展覧施設の運営管理

(1) 来館者サービス

- ①1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手の博物館及び（公財）日本郵趣協会のホームページを閲覧できるようにしています。
- ②展示の観覧を助けるルーペとハンドライトの貸出しを行いました。（利用人数 それぞれ54名、192名）
- ③図書室閲覧においては、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍はその場で購入できるようにしています。また、コピーサービスを提供しています。（コピー利用人数171名）
- ④すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付けました。（交換人数872名）
- ⑤来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行しました。（プレゼントとの交換人数177名）
- ⑥小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施しました。（参加者1,442名）

- ⑦小中学生向けに、ホームページでも「切手クイズ」を実施しました。（参加者108名）
- ⑧切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行しました。
- ⑨1・2階の入館料を日本の未使用切手で支払えるサービスを続けています。（利用人数792名）
- ⑩1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行しました。（期末在籍数51名）

(2) 記念品の頒布

記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

(3) 市民参画

- ①切手の博物館メンバー“MAY(メイ)”の会員を引き続き募集し、会員には博物館メンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は98名で、内訳はM(メジャー)メンバーが64名、A(アシスト)メンバーが33名、Y(ヤング)メンバーが1名です。
- ②切手はり絵(館内・出張)及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。さらに、はり絵に使用する切手の区分には、ボランティア述べ58名の協力を得ました。

3. 普及啓発事業

(1) 施設内活動

- ①ギャラリートーク(展示解説)を次の通り開催しました。
 - 企画展示「クジラとイルカ」展において、学芸員によるギャラリートーク（「国際博物館の日」記念事業を兼ねる、参加者15名）
 - 特別展示「ムーミン切手展」において、展示協力者によるギャラリートーク（参加者20名）
 - 特別展示「切手はアートだ！」展において、学芸員によるギャラリートーク（参加者20名）
 - 特別展示「切手の博物館のクリスマス」展において、展示協力者によるギャラリートーク（参加者15名）
- ②参加型のイベントを次の通り開催しました。
 - 「体験！切手はり絵」 毎月第3日曜日（参加者449名）
 - 「切手たんけん隊」 5月5日(日・祝)と夏休み中の土曜日（参加者20名）
- ③来館者の参加を募り、「きて★みて★きって2013」会場でミニ切手はり絵「えっ、かお」を制作、「切手はり絵コンテスト作品展」会場にて展示しました。（参加者180名）

(2) 施設外活動

- ①「出張切手はり絵」を、豊島区内の児童館などで8回開催しました（参加者146名）。また、出張切手はり絵に代わり、はり絵ワークショップの材料提供を10施設に行いました。
- ②近隣の中学高校の学園祭において、切手はり絵作品の展示を行いました。
- ③(公財)日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間ミニ切手展」キャンペーンに協力し、全国の博物館をはじめ各公共機関40ヵ所でミニ切手展を開催しました。
- ④(公財)日本郵趣協会主催の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2013」に協力し、コンクール審査に審査員を派遣しました。

(3) 広報活動

- ①企画展示、特別展示、各種イベントを、ホームページ及びフェイスブックで広報したほか、新聞・ラジオ・テレビ・出版社などに発信しました。2013年度に諸媒体に掲載・放送された回数は、新聞約20回、雑誌約25回、ラジオ・テレビ約10回、その他(機関誌・WEBなど)約25回でした。一部の新聞では展覧会情報一覧に企画展示の情報が会期中掲載されました。
- ②切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込み(約10回)に、積極的に応じています。
- ③郵便切手文化に関する専門誌に展示などの案内をするほか、(公財)日本郵趣協会主催の展覧会〈スタンプショウ2013〉へブース出店し、当館のPRに努めました。
- ④切手の博物館だより「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の児童館などに送り、地域への広報に努めています。
- ⑤「切手はり絵」をPRするチラシを作製し、児童館、〈スタンプショウ2013〉会場などで配布しました。
- ⑥(公財)日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において財団名をPRしました。

(4) 他館との協調

- ①企画展示「メガネ!メガネ!メガネ!」展の展示品コピーを、「日本眼鏡関連団体協議会」を通じて「めがねミュージアム」(福井県鯖江市)へ提供しました。
- ②日本郵便(株)主催の「世界が選んだ年賀状 JAPAN POST ニューイヤーカードコンテスト」の広報パネル(日本郵便(株)制作)を展示しました[1月4日(土)~2月2日(日)]。

4. 学術調査研究事業

(1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「研究紀要」(第10号)を発行しました。
- ②(公財)日本博物館協会主催の全国博物館長会議、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会、及び各種研修会に出席し、他館との交流を図るとともに、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として、諸手続きを行っています。

(2) 鑑定

郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、56点の鑑定書を発行しました。

5. 顕彰事業

「第11回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きて2013」期間中に作品募集を行い、全応募作品431点を展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました。

6. 文化支援・助成事業

(1) 文化支援

- ①郵便切手文化を広げる場として、「図書バザール」(1回)及び出品者(社)を募った「切手バザール」(8回)を開催しました。
- ②(公財)日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供し、公益活動を支援しました。

(2) 助成

- ①郵便切手文化の振興を図るため、(公財)日本郵趣協会主催の展覧会〈スタンプショウ2013〉及び第48回全国切手展〈JAPEX2013〉において、特別賞を寄贈しました。
- ②博物館の社会貢献活動の一つとして、エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人等に寄贈する活動を続けています。

II. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

附属明細書（事業報告関係）

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。